

環境報告書（第十六回）

第94期（H30年度・H.30.5/21～R.1.5/20）

令和元年6月10日
環境管理責任者

当社足立生産センターにおける環境活動も、スタート以来丸15年を経過致しました。お陰様を持ちまして、関係各位のご支援をいただき、一定の成果を得ることが出来ましたこと、深く感謝する次第です。今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願いいたします。当社足立生産センターにおける本年度(94期)環境マネジメントシステム(EMS)の状況についてご報告いたします。

■ 目的・目標活動結果

著しい環境側面	環境への影響等	是正措置等
損紙の発生	地球環境(森林資源)を守る	難易度の高い薄紙印刷や特に小ロット印刷の需要が一段と進んでいる。若手社員を中心に外部研修にも積極的に参加しスキルアップを図り、また作業手順書・基準書の読み合わせ等を徹底しながら作業に当たったが、ごく僅かながら目標を達成することが出来なかった。今後も積極的にチャレンジしていきたい。
電気を使用する ガスを使用する	有限なエネルギー資源を有効に使う	日常・月次点検と機械毎の定期メンテナンススケジュール表に沿った点検、消耗部品の交換等を引き続き強化して行った。また、課題ごとに改善策を立てて実施した。但し、小ロットの受注が一段と増え版替え回数の増加などに伴い待機時間も増加するなどした結果、電気、ガスは僅かながら目標を達成出来なかった。今後も引き続き取り組んでいく。
廃インキの削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	ここ数年来取り組んでいるインキ在庫の的確な管理を引き続き実施した。特色インキによる印刷物の受注が多くなる中、適量発注及び調肉作業に努め、また残インキの最適な再利用についても工夫し取り組んだが、僅かながら目標達成には至らなかった。今後も創意工夫を図りながら取り組んでいく。
ロスミスによる 用紙使用量の削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	目標達成のため、機長や助手が基準書の読み合わせや意見交換も行いながら取り組んだ。但し、小ロット受注に伴う予備率や、不可抗力的な外部要因などによる事象などもあり、僅かながら目標達成には至らなかった。今後も改善の取組みをしながら進めていきたい。
廃棄物の削減	廃棄物を削減し省資源に努める (プラスの環境側面)	ここ数年来取り組んでいる資源の有効活用と、廃棄物のリサイクル化をさらに推進してきた。その結果、一般廃棄物の削減に繋がり目標を達成することが出来た。今後も継続して推進していく。

■ 主な活動状況

- 当社は印刷オペレータを始め全社員に対して、積極的に外部教育機関へ派遣し、印刷技術・知識の向上を図っている。同時に環境活動(力量)へのスキルアップ改善へもつなげ、損紙削減活動等にも寄与している。
- 目的・目標の達成状況は数値管理の他、5W1Hのプログラム(進捗状況管理型)を作成し継続している。進捗状況管理型の継続により、結果や進捗状況の“見える化”がより進められ、社員の意識向上に繋がっている。
- 「資格取得計画表」を作成し、社員が必ず資格や技能を取得することを目指している。より高度な技能や知識を習得することで生産性の向上が図られ、併せて環境目標達成へ繋げられるよう取り組んでいる。

以上のような活動を今後とも展開し、環境活動に貢献できる会社を、更に目指していきます。